



よいぞら わくせい 宵空の惑星たちを見続けよう

惑星たちは星空の中を複雑に動いています。

10月6日、火星と地球は最接近しました。惑星たちは太陽を回るそれぞれの軌道をめぐりながら、たがいに近づいたり遠ざかったりします。地球が内側から火星を追い抜くとき、地上にいる私たちがら見ると、火星は背景の星空に対して行ったり（順行）来たり（逆行）ジグザグやループを描きます。まさに、空を「惑う」ようです。

今、夜のはじめごろの南の空には木星と土星が並んで見えます。地球から見た2つの惑星の位置がたまたま同じような方向にあります。空では、これからますます近づいていき、今年12月21日の日没後にはこの2つの惑星が西の低空にとっても近づいて見えます。満月の直径の約1/4ほどに近づきます。

まだまだ明るい火星がこれからだんだん暗くなっ

ていくようすや（暗くなるとほんとうに目立たなくなります）、木星と土星の位置が変わっていくようす、日々見られる足立の空から太陽系の奥行きを感じてみませんか。

